

かみさま  
たくさんの神様



にほん しょうがつ ひと じんじゃ い じんじゃ ねんかん あんぜん  
日本では、お正月にたくさんの人が神社に行きます。神社で、1年間の安全や  
けんこう いの しけん ごうかく こううん ねが ひと かな  
健康をお祈りします。そして、試験の合格や幸運をお願いする人もいます。神奈  
がわけんかわさきし けいひんふしみ いなりじんじゃ かみさま  
川県川崎市にある京濱伏見稲荷神社には、たくさんの神様がいます。



この<sup>あか</sup>赤い<sup>もん</sup>門は、<sup>とりい</sup>鳥居といひます。<sup>かみさま</sup>神様の<sup>せかい</sup>世界と<sup>にんげん</sup>人間の世界を<sup>せかい</sup>分けるためにあり、  
ここから<sup>かみさま</sup>神様の<sup>せかい</sup>世界へ<sup>はい</sup>入ります。この<sup>じんじゃ</sup>神社の<sup>あか</sup>赤い<sup>とりい</sup>鳥居は、<sup>いふく</sup>衣服と<sup>しょくもつ</sup>食物と<sup>じゅうきよ</sup>住居の<sup>かみさま</sup>神様です。そして、<sup>にほんじん</sup>日本人にとって<sup>たいせつ</sup>大切な<sup>こめ</sup>お米の<sup>かみさま</sup>神様でもあります。

この<sup>かみさま</sup>キツネは、<sup>かみさま</sup>神様ではありません。<sup>かみさま</sup>神様の<sup>つか</sup>使いとして、<sup>こめ</sup>お米を<sup>まも</sup>ネズミから<sup>まも</sup>守っています。この<sup>じんじゃ</sup>神社には、<sup>ひき</sup>108匹の<sup>ひき</sup>キツネがいます。



ほかには、<sup>き</sup>木、<sup>いけ</sup>池、<sup>いわ</sup>岩、そして、<sup>やま</sup>山の<sup>かみさま</sup>神様もいます。

<sup>とり</sup>鳥居や<sup>き</sup>木、<sup>いけ</sup>池などがどうして<sup>かみさま</sup>神様なののでしょうか？ <sup>ふしぎ</sup>不思議に<sup>おも</sup>思う<sup>ひと</sup>人もいる  
かもしれません。<sup>に</sup>日本人は<sup>ほんじん</sup>昔<sup>むかし</sup>から、<sup>どうぶつ</sup>動物や<sup>しょくぶつ</sup>植物だけでなく、<sup>はたけ</sup>畑や<sup>たき</sup>滝などの<sup>いのち</sup>命  
がないものにも<sup>かみさま</sup>神様が<sup>かんが</sup>いると<sup>かんが</sup>考<sup>かんが</sup>えてきました。それで、<sup>ちほう</sup>地方ごとに<sup>きせつ</sup>季節のお祭  
りをしたり、<sup>いわ</sup>岩や<sup>やま</sup>山、<sup>はたけ</sup>畑、<sup>たき</sup>滝のような<sup>しぜん</sup>自然を<sup>うやま</sup>敬<sup>うやま</sup>ったりします。この<sup>かんが</sup>考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>  
<sup>しんとう</sup>神道と言います。<sup>しんとう</sup>神道は、<sup>つく</sup>だれが<sup>つく</sup>作<sup>つく</sup>ったか、<sup>しんとう</sup>わかりません。そして、<sup>きょう</sup>キリスト教  
<sup>せいしょ</sup>の<sup>せいしょ</sup>聖書や<sup>きょう</sup>イスラム教の<sup>きょう</sup>コーランのような<sup>かみさま</sup>神様についての<sup>ほん</sup>本もありません。  
<sup>に</sup>日本人に「<sup>しゅうきょう</sup>宗教は何ですか？」と<sup>き</sup>聞くと、<sup>こた</sup>すぐに<sup>かえ</sup>答えが返<sup>かえ</sup>ってこないかもし  
れません。そのため、<sup>に</sup>日本人は<sup>しゅうきょう</sup>宗教を<sup>も</sup>持<sup>も</sup>っていないと<sup>おも</sup>思われることもあります。  
しかし、<sup>じっさい</sup>実際には<sup>に</sup>日本には<sup>ほん</sup>たくさん<sup>かみさま</sup>の<sup>かみさま</sup>神様が<sup>しぜん</sup>いるのです。それらの<sup>かみさま</sup>神様は<sup>しぜん</sup>自然の  
<sup>なか</sup>中<sup>なか</sup>にいるので、<sup>きょう</sup>キリスト教や<sup>きょう</sup>イスラム教などの<sup>かみさま</sup>神様とは<sup>ちが</sup>違<sup>ちが</sup>います。それで、  
<sup>しんとう</sup>神道の<sup>かんが</sup>考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>だと<sup>いしき</sup>意識<sup>いしき</sup>していないために、<sup>しゅうきょうてき</sup>宗教<sup>かみさま</sup>的<sup>かみさま</sup>な<sup>おも</sup>神様<sup>おも</sup>だと思<sup>おも</sup>われていない  
のです。

みやざきはやお ひと し 宮崎駿 という人を知っていますか。せ かい て き ゆうめい 世界的に有名なアニメの映画監督です。えい が かん と く

かれ さくひん なか し ぜん うやま しんとう かんが かつ むす さくひん 彼の作品の中に自然を敬う神道の考え方と結びついた作品があります。たと

は、「もののけ姫」、せん ちひろ かみかく 「千と千尋の神隠し」、「となりのトトロ」や かぜ たに 「風の谷のナウ

シカ」などです。「スタジオジブリの作品」のサイトで、みやざきはやお さくひん 宮崎駿のアニメ作品の

が ぞう み おもしろ 画像を見ることができます。とても面白いアニメがたくさんあるので、ぜひ観て  
ください。

「スタジオジブリの作品」 <https://www.ghibli.jp/works/>

(853字)

(2021.9 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

#### < 参考資料 >

- ・「神道国際学会」ウェブサイト「神道とは」

[http://www.shinto.org/wordjp/?page\\_id=2](http://www.shinto.org/wordjp/?page_id=2)

- ・芳賀理彦(2014)「アメリカにおける宮崎駿の受容 - 日本文化と歴史の新しい表象 -」

『千葉大学比較文化研究』(2). pp.73-102.

[https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900117896/hikakubunka\\_no.2\\_73\\_102.pdf](https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900117896/hikakubunka_no.2_73_102.pdf)

(2021.10.14 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この  
作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) <sup>れい</sup>出典<sup>しゅつてん</sup>: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.